



◎本ニュースレターは、木曽三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信するものです◎

エコネット応援団の愛知県立一宮高等学校生物部のみなさまから、うれしいお知らせが届きました！詳細は、ぜひ記事を読んでみてくださいね。また、毎年冬の寒い時期に実施している「ハリヨ繁殖地の汚泥除去と外来生物駆除」の活動報告やエコネット応援団のイベント出展報告などがあつまりました。

〔愛知県一宮市〕

愛知県立一宮高等学校 生物部が 第24回 中部の未来創造大賞の優秀賞を受賞しました！

応援団参加団体の愛知県立一宮高等学校 生物部のみなさまが、第24回 中部の未来創造大賞の優秀賞を受賞されましたのでご紹介します。

一宮高等学校 生物部のみなさま、受賞おめでとうございます！

一宮高等学校生物部の
部員代表の生徒さんからの寄稿です！

本活動の「起小ジャブジャブ池を生まれ変わらせよう大作戦」は、一宮市立起小学校の校長先生のお声がけから始まり本校生物部のほか様々な機関が協力しながら進められています。起小学校は木曽川に近い場所に位置している関係から環境学習が盛んに行われています。

活動が始まる前の池は、ギンブナとカダヤシというたった2種類の魚しか生息していませんでした。そこで、生物多様性の無いジャブジャブ池を、多様な生物が生息するワンドのような環境に児童・生徒が協力して改変し、児童が校内で木曽川的环境を学べるようにすることが本活動の目的です。

活動内容は、どんな環境を作るかの話し合い、従来の池の拡張、国土交通省の許可のもとでの木曽川の砂や石の調達及び池への配置、ワンドの植物や魚の採取及び池への植え付けと放流です。どの活動も、児童・生徒・有識者で協力して行われ、児童は話し合いで主体的に意見を出し、生物に興味津々な様子でした。現在は、魚の放流を終え様々な生物が池の中で暮らしています。しかし、現在の状況でジャブジャブ池が完成したわけではなく、さらにたくさんの生物が生息できる環境に、そして児童により環境に興味を持ってもらえる工夫をするなど池を改変できるように活動を続ける必要があります。

今後も、児童・生徒との人との関わりを大切にしながら環境教育の推進のための地域づくりに貢献できるように活動に取り組んで参ります。

(部員代表生徒より)

「中部の未来創造大賞」とは

地域づくりのための活動を表彰し、新しい時代にふさわしい中部の発展とその啓発を促進しようとするものです。

第24回目にあたる今回は28件の応募があったそうです。



▲第24回中部の未来創造大賞パンフレット。
ぜひ読んでみてくださいね。
<https://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/mirai/24/index.htm>

〔岐阜県池田町〕

池田町役場 社会教育課様より
活動報告です！

ハリヨ繁殖地の汚泥除去と外来生物駆除が行われました！

2月4日(日)に、池田町ハリヨを守る会、岐阜県立池田高等学校の生徒、池田町教育委員会の合同で、ハリヨ繁殖地の水底に堆積した汚泥除去と外来生物駆除を行いました。毎年、ハリヨの繁殖期を避け、かつ最も水位が低くなるこの時期に実施しています。

当日は池田町ハリヨを守る会と高校生、あわせて50名ほどが参加し、川岸や池底に堆積した汚泥の除去と、外来生物の駆除に励みました。

特に汚泥の除去は体力を使う作業ですが、高校生の存在が大きな支えとなりました。大勢で1時間ほど作業できたので、水底もある程度綺麗になり、アメリカザリガニやオヤニラミといった外来生物も採捕できました。

ハリヨやその周辺環境保全活動を、地元高校生も含め地域ぐるみで行うことで、郷土の財産を守る大切さ・大変さを実感する機会を共有できたと思います。

高校生のみなさんも、
がんばって川のお掃除
をしました。



▲左：川底からとれた汚泥。人が小さく見えるくらい大量です。
右：大量の汚泥をクレーンでトラックの荷台へ移動し運びます。



2024年2月4日(日)

笠松町、美濃加茂市、犬山市のイベントにエコネット応援団が出展しました！

木曽三川流域エコネット応援団事務局では、流域で行われる様々なイベントで、パネル展示や支援グッズを提供することにより普及・啓発を行っています。

今年度は、笠松町、美濃加茂市、犬山市で行われるイベントに出展し、エコネットに関するパネル展示とチラシ配布、かわまちづくりや防災関連のPRを行いました。

笠松町では、10月22日(日)に「リバーサイドカーニバル2023」が行われ、エコネット応援団のブースにて、指標種のアンケートに答えていただいた方々にガチャガチャを引いてもらい、景品としてイタセンパラやハリヨの缶バッジを配りました。

美濃加茂市では、11月4日(土)に「日本ライン・KISOGAWA River to Summit 2023」でブース出展を行いました。ブースでは、エコネット、かわまちづくり、防災の内容を展示し、指標種の認知度アンケートを行いました。「ハリヨが近所で見れるのでよく知っている」、「アクア・トトギス



▲美濃加茂市
(KISOGAWA River to Summit 2023)



▲上：笠松町
(リバーサイドカーニバル 2023)
下：犬山市(紅葉堂)

でイタセンパラを見たことがある」など、指標種について知っている方が何人かいらっしゃいました。

犬山市では、11月18日(土)に「紅葉堂」で、エコネットに関するブースを出展し、防災、木曽川中流かわまちづくり、エコネットに関する内容を展示しました。来場した方の多くが観光客で、遠方の方々の貴重なご意見をいただけたかと思ひます。

ご来場いただいた皆様、ありがとうございました！



エコネット応援団事務局の支援に関するアンケートを実施しました！

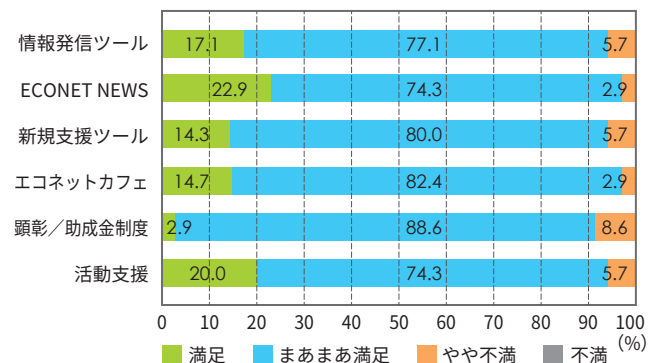
R5年度の取り組みの効果を把握するため、参加団体や推進協議会関係者に向け、事務局が実施する各種支援の活用状況や満足度等に関するアンケート調査を実施し、35名の方にご回答いただきましたので結果の概要を報告します！皆様ご協力いただき、ありがとうございました。どの項目も90%以上の回答が、「満足」か「まあまあ満足」でした。

それぞれの項目を見てみると、「ECONET NEWS」と「活動支援」については、満足の割合が20%以上と高く、「顕彰／助成金制度」については、「満足」の割合が10%以下と低く、「やや不満」の割合も高い結果でした。

顕彰／助成金制度については、どの助成金制度に応募すればよいかわからない、応募書類の作成に時間がかかり負担になるなどの意見があり、情報発信のタイミングや

支援内容について見直し、より満足していただけるよう改善していきます。

各種支援に対する現状の満足度



木曽三川流域エコネット応援団事務局の Instagram アカウントを開設いたしました！

https://www.instagram.com/kiso_econet/

※ Instagram の運用にあたり、運用方針を取り決めていただきましたので、ご一読いただき、ぜひフォローしてください！



KISO_ECONET

掲載用情報を募集しています！

事務局では、このニュースレターや facebook ページで、木曽三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信しています。生物多様性の保全や生きものを活用した地域づくりなど、応援団の皆さんからの投稿・情報提供を随時募集中です。下記お問い合わせ先まで、お気軽に情報をお寄せください。(なお、紙面の都合等で取材・掲載できない場合もありますこと、予めご了承ください。)

事務局では、このニュースレターや facebook ページで、木曽三川流域

！ぜひご覧ください！



Facebookにて
情報を発信中！

<https://www.facebook.com/kisosanseneconet/>



木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会(事務局：国土交通省木曽川上流河川事務所)は、川とともに育まれてきた流域の自然や文化を保全・活用し、地域の魅力を向上させるとともに、人と自然・人と人との絆を深めることを目的とし、流域の市民団体・自治体・有識者・河川管理者等によって、平成 26 年度に設立されました。

本協議会では、木曽三川流域において、自然環境を保全・再生・創出してつなげる「生態系ネットワーク形成」に関連する活動を行う(または賛同する)、地域のさまざまな団体等に参加していただく「木曽三川流域エコネット応援団」を結成しています。応援団の皆さんの活動に関する情報共有等を図ることにより、地域の交流・協働を促進し、取り組みのさらなる発展を目指していきます。

「木曽三川流域生態系ネットワーク」ホームページ <https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojo/econet/index.html>

木曽三川流域エコネット応援団 事務局：国土交通省 木曽川上流河川事務所 流域治水課(岐阜県岐阜市忠節町 5-1)

【問い合わせ先】木曽川上流河川事務所 流域治水課 e-mail: cbr-kisojo-choa@mlit.go.jp / tel: 058-251-1125

